



## 第1回仮称)環境と人部会 【摘録】



日時：平成24年9月20日(木)18:15~20:00

場所：宮前区役所 4階第2会議室

【進行：仮部会長 黒澤副委員長】

### 1 出席確認

欠席：黒沢委員・藤田委員 【進行：代理 直本委員長】

### 2 部会の進め方

第1回部会：フリートーク

第2回部会：挙げた意見を集約し、方向づけ

11月全体会：方向付けの報告

第3回部会：具体的な提案の検討

### 3 具体的な提案の検討

別紙のとおり意見集約

### 4 部会長選出

過半数の推薦により佐々木委員が部会長に選出

### 5 部会名

環境を活かした人づくり部会 に決定

### 6 今後の日程

第2回 10月4日(木) 18:15~ 区役所4階第1会議室

#### ■次回準備しておく資料

・公園体操マップ最新版

・今回挙げたキーワードに関する事例

### 7 参考

水沢の森見学について

◇9月28日午前 土橋小学校受け入れ

◇10月21日 区民祭で見学ツアー実施

都合のいいときに各自で見学してはどうかと提案あり

# テーマ：環境を活かした人づくり

【総論】最終的な目標を「人づくり」に置く。目的意識を共有できるコンテンツを充実させ、多くの人に参加できる仕組みを作っていく。個別目的での参加がキッカケとなり地域全体への関心を高め、人づくりへとつなげていく

キーワード  
人づくり・参加者を増やす・相乗効果

## コンテンツ充実によるきっかけづくり

- 身近な取組など小さい単位からでも、目的を共有し、集まることから地域参加が始まる（直本）  
同じ目的を持つ人はすぐに繋がる（浦野）  
例：坂道ウォーキング教室＝健康づくりの目的
- 口火を切ってやりだす人の存在で地域が動き出す（芒崎）
- 「見返りが無くてもやりたい」と思える人ができるように（浦野）
- マイナスな箇所をプラスに転じることで地域の魅力を高め、地域活動に目を向けてもらえるようにする（直本）



## 情報発信によるきっかけづくり

- 駅周辺の施設などを活用し、イベント等存在自体を知ってもらう（佐々木）
- 宮前区の名所を見てもらうマラソンの開催など、区自体を知ってもらうことから地域へ目を向けてもらう（佐々木）
- 小さいイベント等も情報発信をしていくことで参加者が増えてつながっていく（森山）
- 注目されるとボランティア精神が目覚める（福田）



### 環境づくり（花・緑）

- 区の花コスモスのPRを進める（福田）
- 花壇をつくるとその場所にはポイ捨てされなくなる（芒崎）
- 公園を持ち回りで清掃していく（森山）
- 花壇づくり自体が人づくりにつながっている（福田）

### 環境づくり（健康・スポーツ）

- スポーツはやる場所が無いという問題もある（芒崎）
- 公園体操。場所により開催数がまちまち。拡充させたい（大村）
- メジャーなスポーツを宮前で推していくことで地元注目してもらう（浦野）

### 環境づくり（健康+花と緑+区民参加のイベント）

- 目的意識が「花」の人でも健康づくりの内容を盛り込んだテーマとすれば参加者の視野が広がる（浦野）  
⇒例：花壇をめぐるウォーキング（花+健康+イベント）  
お花を植える前に準備運動として体操を取り入れる（花+健康）
- 環境の良いところでやるスポーツは効果が増す、相乗効果を見込んでいきたい（浦野）
- 水沢の森の活動自体が重労働なため、「花と緑+健康づくり」の事例になっている（本郷）



※「こんな人をつくってきたい」というイメージはまだ意見として挙がっていません

### 人づくりの事例

- 水沢の森の活動が小学校のカリキュラムに組み込まれている。（バードウォッチング・芋ほりなど）森の活動⇒緑保全&健康づくり⇒多世代の人づくりの事例となる（本郷）
- 南野川ふれあいの森の「野川はあも」などに支援をしていくことで類似の効果を拡大できれば良い。ただ、当の団体が望んでいるかは別の話（本郷）

### 具体的提案の絞込みについて

- 一度参考となる活動の現場を見に行く（白井 本郷 佐々木）